

～これからの自然環境行政を担う人たちへ～



(上)富士箱根伊豆国立公園、(中)国立公園内の巡視、(下)タンチョウ

環境省レンジャーの仕事

(2014年版)



三陸復興国立公園(穴通磯)



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

自然保護官(通称:レンジャー)とは?

米国の国立公園のパークレンジャーになって、昭和28年に公園技術者12名が当時国立公園を所管していた厚生省に採用され、各地の国立公園の管理のために配置されたことに始まります。それ以来、半世紀を経て、現在の地方環境事務所等に配置されるレンジャーは約260名となりましたが、その業務は、国立公園の保護管理に限らず、野生鳥獣の保護、希少野生動植物の保護増殖、外来生物の対策、自然ふれあい活動・環境教育・エコツーリズムの推進、森林・河川・里地里山の保全など幅広い範囲にまたがり、内容も多様になっています。

レンジャーは、国家公務員総合職又は一般職の自然系技官として環境省に採用され、全国の国立公園等現場駐在の他に、環境省本省、他省庁や地方自治体への出向等に従事しています。

※本パンフレットでは主に一般職の情報を掲載していますが、レンジャーとしての業務内容は総合職、一般職とも共通しています。



国立公園内の現地調査(知床)



自然観察会の開催(那須)

地域と共に守っていくための大切なもの



自然環境局長
星野 一昭(昭和53年度入庁)

切り立った岩稜や氷河が削り出したU字谷を背に、数々の渓谷から清らかな水の滴が集まりできあがったせせらぎが流れ、岸には美しい高原の湖畔林が広がっている。ここにはとても繊細で多彩な自然風景美がある。私が赴任した中部山岳国立公園の上高地はその様な場所だ。その美しさにふれようと絶え間なく人が訪れ、多くが感動や満足感を持ち帰っていく。地域の人達もその期待に応えようと、その美しさを損なわないように日々取り組んでいる。自然景観美が、地域に誇りを生み、人々を言い立たせ、それにより美しさが保たれていくという循環するシステムを目の当たりにし、優れた自然景観地を守っていくには、自然を丸ごと五感で感じ、大切なものをしっかりと捉えて、その地域の人達と一緒に取り組むことが重要であると、私の心に深く刻まれました。

冬の網路温泉の早朝。オレンジ色の朝霧の中、河川のぬぐらで休憩をとっていたタンチョウの影が美しくまっすぐ水面に延びている。ちょうど目覚めたところで、吐息が寒さで真っ白く、まるで真綿のようだ。そ

の端正なフォームを求め、観光客、写真家、地域の人達がこぞって展望地に集まってくる。わが国を代表するこの白く美しい鳥は、かつて人の手で絶滅に瀕したものの、逆に人の手によりようやく生息個体数1,000羽を超したところまで回復をみせた。その保護活動は地域人の熱意から始まり、50年間以上の長い時間をかけここまで達したものである。食糧も満足にない時代に冬季の餌不足を補うために給餌を始めた方々を、私たちは決して忘れてはいない。

私たちレンジャーは、わが国を代表する優れた自然景観地である国立公園の保護管理や、希少野生生物の保護などの自然環境行政を推進していく使命を持っています。そして、多様な自然景観地の環境状況や野生生物の生息・生育状況、さらにそれらを取り巻く社会情勢も踏まえて、自然保護に関する制度運用や事業展開を駆使し、適切に進めていくことが求められています。ただ、その背景にある地域の意志、行動というものを欠いては決してその取り組みはうまくいくことはありません。これまでもレンジャーは、その地域の人達や関係者の想いを受けとめ、同等以上の熱意をもって、地域の人達と一緒に取り組むことを行ってきました。それが、わが国の自然保護を担う者のあるべき姿だと考えているからです。

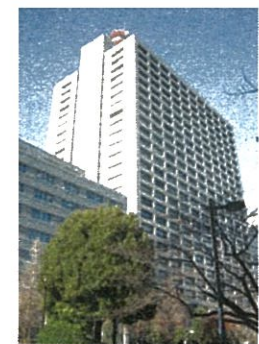
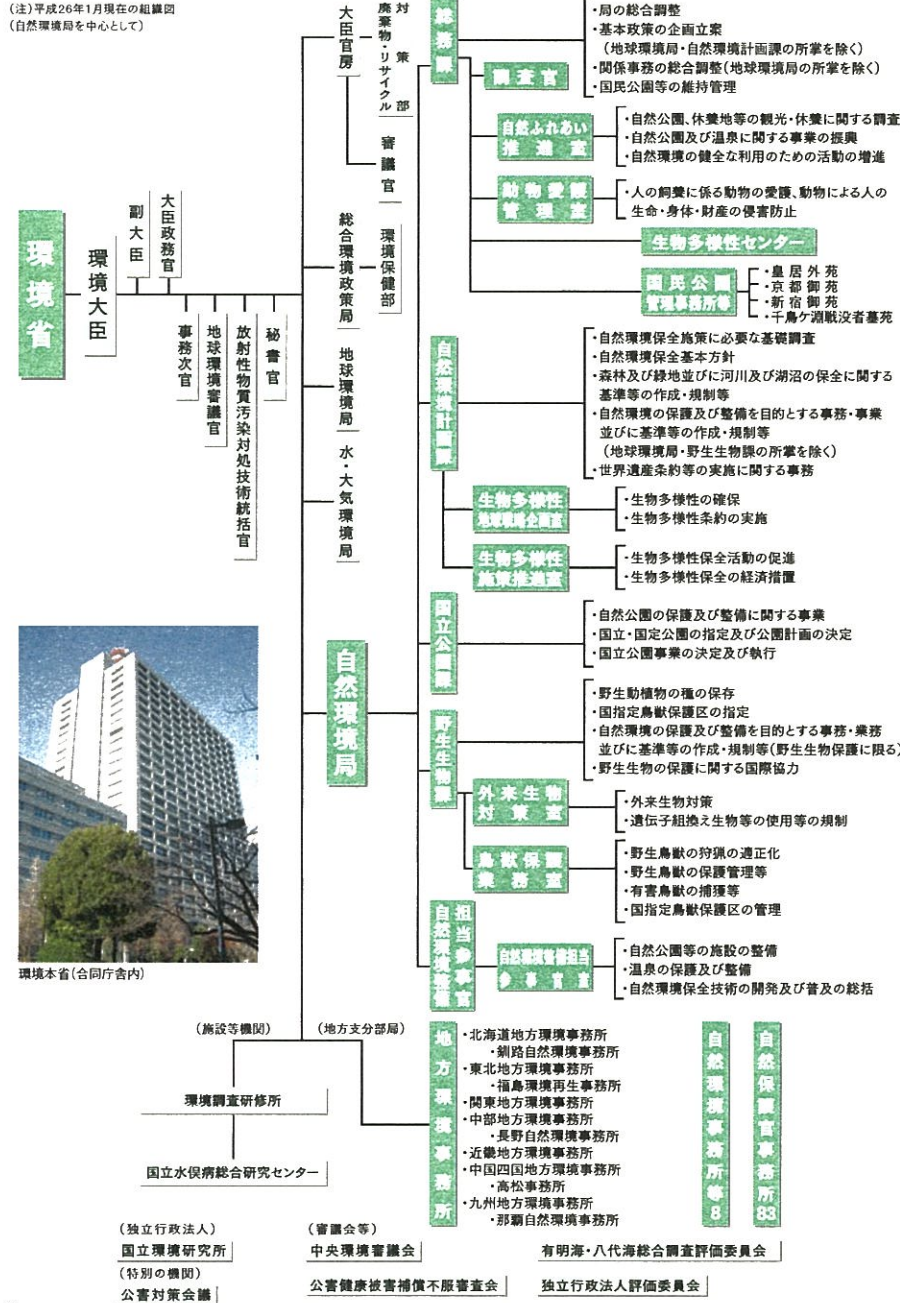
平成23年3月に起こった東日本大震災以降、環境省は放射性物質の除染など重大な任務を担うこととなり、大きな変革の時を迎えています。しかし、わが国特有な自然環境はこれまでもこれからもかけがえのないもので、将来の子どもたちに引き継がなければならない大切な財産です。だからこそ、この大きな流れに対応しつつ、地域の誇りを受けて、強い熱意で取り組み、地域と共に歩む、その様なレンジャーの姿を見せていくことが必要であると強く思っています。この様なレンジャーになって、私たちと一緒に自然保護に取り組みたいという皆さんを、心からお待ちしています。

Contents

自然保護官(通称:レンジャー)とは?	1P
地域と共に守っていくための大切なもの	2P
環境省の組織と地方環境事務所	3P~4P
レンジャーの現地業務	5P~6P
全国のレンジャーからの声	7P~8P
レンジャー生活とは?	
二戸 治(長野自然環境事務所)	9P
中川 春菜(関東地方環境事務所)	10P
瀬川 涼(東北地方環境事務所)	11P
山本 以智人(那覇自然環境事務所)	12P
レンジャーの職歴	13P
採用情報	14P

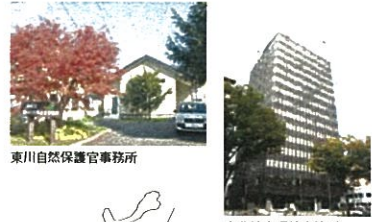
環境省の組織と地方環境事務所

(注)平成26年1月現在の組織図
(自然環境局を中心として)



環境省では、地域の実情に応じた機動的かつきめ細かな環境政策を展開するため、平成17年10月、地方支分部局として全国7箇所に地方環境事務所を設置しました。

地方環境事務所では、国立公園の管理、野生生物の保護等の自然保護業務のほか、廃棄物・リサイクル対策や地球温暖化防止、環境教育推進など幅の広い事務を行っています。地方環境事務所の下には自然環境事務所等のほか、83カ所の自然保護官事務所が置かれており、配置される自然保護官は国立公園、自然環境保全地域、国指定鳥獣保護区等の管理に当たっています。



レンジャーの現地業務

1 国立公園の保護管理と適正利用の推進

わが国を代表する優れた自然景観地について、自然公園法に基づき国立公園に指定し、当該地域の自然環境の保護を図るとともに、自然とのふれあいの場として、適正な利用を推進しています。

【主な取り組み】

- ・公園計画や公園事業の検討
- ・国立公園内の工作物設置等の各種開発行為の許可手続の指導、審査
- ・国立公園内の巡視や現地調査
- ・国立公園内の利用者指導、美化清掃
- ・自然観察会等の自然とのふれあい行事の開催、パークボランティアの運営
- ・公園利用施設の整備 など



国立公園の巡視(南アルプス)



子どもパークレンジャー(石垣)



自然観察会(銅路湿原)



行為許可手続の指導(東川)



ボランティアとの連携作業(利尻山登山道の補修)



利用施設の整備事例(戦場ヶ原周回利用木道)



利用施設の整備事例(那須ビジターセンター)

2 野生生物の保護と外来生物の防除

人と野生生物との共存、多種多様な動植物の保存を図っていくため、狩猟等による野生鳥獣の捕獲等に係る適切な管理、絶滅のおそれのある野生動植物の保護増殖、外来生物による被害の防止など様々な取り組みを推進しています。

【主な取り組み】

- ・国指定鳥獣保護区の巡視
- ・国指定鳥獣保護区内及び希少鳥獣の捕獲許可手続の指導、審査
- ・希少野生動植物種の捕獲許可手続の指導、審査
- ・希少野生動植物種の保護増殖事業の実施
- ・外来生物の防除事業の実施 など



トキ野外放鳥モニタリング(佐渡)



傷病鳥獣の保護(銅路)



ブラックバス防除作業(伊豆沼)

3 自然環境保全地域や世界自然遺産地域の保全

ほとんど人の手が加わっておらず原生状態が保たれ、優れた自然環境を維持している自然環境保全地域の保全に努めています。また、人類共通のかけがえのない財産として世界遺産リストに登録された「知床」、「白神山地」、「小笠原」及び「屋久島」の世界自然遺産地域について、関係者と連携し適正な保全を進めています。

【主な取り組み】

- ・自然環境保全地域や世界自然遺産地域の巡視
- ・自然環境保全地域や世界自然遺産地域の管理計画の作成
- ・地域連絡会議や科学委員会の設置、運営
- ・地域毎の各種問題(ヒグマ、シカ、地元産業、外来生物)への具体的な対策 など



ヒグマ対策高架木道の整備・管理(知床)



登山者数調査(屋久島)

4 自然再生事業の実施

過去に損なわれた自然環境(森林、湿原、サンゴ礁等)を取り戻すため、多様な関係者と連携し、保全・再生を旨とした自然再生事業を実施しています。

【主な取り組み】

- ・銅路湿原、サロベツ湿原の湿原再生
- ・大台ヶ原の森林再生
- ・阿蘇の草原再生
- ・奄根、石西礁湖のサンゴ礁再生 など



森林植生衰退状況調査(大台ヶ原自然再生事業)



サンゴ被度調査(石西礁湖自然再生事業)

5 国民公園の管理

戦前、皇室苑地だった皇居外苑、新宿御苑、京都御苑は戦後広く国民一般に開放され『国民公園』と親しまれており、それぞれの国民公園の歴史的特性、美観、静穏を保持しながら維持管理に当たっています。

【主な取り組み】

- ・皇居外苑、新宿御苑、京都御苑の維持管理、利用者サービスの向上
- ・苑内の歴史的建造物の保存
- ・苑内での自然とのふれあい活動、環境教育の推進



サクラの開花時期(新宿御苑)



クロマツが点在する皇居前大芝生広場(皇居外苑)

6 自然環境に関する情報の収集・活用

自然保護地域の管理や野生生物の保護等の自然環境保全を適切に行っていくためには、科学的な情報の蓄積と解析が不可欠です。『生物多様性センター』では、自然環境保全基礎調査を実施し、自然環境に関する情報収集・提供を行っています。

【主な取り組み】

- ・自然環境保全基礎調査の実施
- ・生物多様性情報システム(J-IBIS)の運用
- ・関係文献、動植物標本の収集及び普及啓発



生物多様性情報システムに関する講演会(生物多様性センター)



標本収蔵庫公開(生物多様性センター)

全国のレンジャーからの声



地元小学校での国立公園の普及啓発

舟橋 美帆 (H22年度入省、Ⅱ種林学)

D 上信越高原国立公園戸隠地域には全国から多くの利用者が訪れますが、地元の子供も住んでいる場所が国立公園であることを意外と知らないものです。自然とのふれあい活動や環境教育活動等を通じて、身近な場所が「国立公園＝わが国を代表する素晴らしい自然景観地」であることを知ってもらうことなど、自然保護思想の普及啓発に努めています。



死内で開催される自然とのふれあい企画に関する打合せ(本人左端)

竹元 恵 (H17年度入省、Ⅱ種林学)

E 京都御苑は御所を中心として成立した緑豊かな国民公園で、深い歴史を背景に今では多様な生きものが生息し、四季折々に趣ある表情を見ることができます。貴重な建築物や庭園などの歴史的遺構も多く、その保存と活用に向けた施設整備のほか、自然教室の開催などに取り組んでいます。



登山道の補修(本人左端)

秋山 祐貴 (H22年度入省、Ⅱ種林学)

F 名峰大山がある大山隠岐国立公園の現地レンジャーとして、国立公園の管理業務を行っています。国立公園内の開発行為を規制し、その行為により自然が劣化しないよう調整することで自然保護を進めています。また、わが国を代表する自然景観をもつ国立公園を保護していく大切さやその意味などをできる限り多くの方に理解してもらえよう、日々奮闘する毎日を送っています。

田畑 克彦 (H11年度入省、Ⅱ種林学)

G 北は西海国立公園から南は屋久島国立公園まで、標高は0mから1,831mまで。登山道からビジターセンターのような建築物まで、現地レンジャーと協力しながら、自然環境の保全や安全・快適な利用など、いろいろなことを考えながら、いろいろなモノを造っています。



登山道整備のための現地調査

寺内 聡 (H16年度入省、Ⅱ種林学)

A 知床、阿寒及び釧路湿原国立公園のエゾシカ対策を担当しています。エゾシカが増加することによって、自然環境への影響、農林業被害、交通事故等の様々な問題が生じています。自然と人の共生を目指し、シカの計画的な管理を進めるため、地域の方々や関係機関等とその対策を一緒に考え、取り組んでいます。



エゾシカ個体数調整のための捕獲標置場所の調査(本人真ん中)

A 釧路自然環境事務所



福地 壮太 (H18年度入省、Ⅱ種林学)

B 白神山地世界自然遺産地域(自然環境保全地域・国指定鳥獣保護区)の管理を担当しています。巡視や現地調査で山に入るほか、世界自然遺産の保全に関わる国・県・市町村からなる連絡会議を通じて、各種調整や管理計画の作成などにあたります。さらに、科学的な知見を踏まえた世界自然遺産地域の管理を進めるため、学識者からなる科学委員会の運営を行います。



国指定白神山地鳥獣保護区の制札の設置

B 西目屋自然保護管理事務所



D 戸隠自然保護官事務所

E 京都御苑管理事務所

F 米子自然環境事務所

G 九州地方環境事務所

C 自然環境局自然環境計画課

長谷川 修一 (H18年度入省、Ⅱ種農学)

C 南極地域の原生的な自然環境を守るため、関係省庁等と連携しながら、日本人が南極地域で行う活動の環境影響に関する審査や南極条約協議国会議で外国との交渉業務に携わっています。また、南極観測隊の夏隊に4ヶ月間同行し、昭和基地周辺にも数ヶ月間滞在しながら、現地の環境状況や保全活動の現状把握も実施しています。



南極地域観測隊同行時のペンギンルッカリー(集団営巣地)調査

レンジャー生活とは？

ハマるお仕事のススメ

二戸 治 (H11年度入省、II種土木)
長野自然環境事務所 里地里山保全専門官
(国立公園 保全整備課 用地・国有財産専門官 併任)

土木職で採用試験を受けていた当時、偶然立ち寄った環境省の業務説明会で聞いた仕事内容は、登山道、キャンプ場、広場、ビジターセンター等の施設を整備するというものでした。耳慣れない施設の種類の一言にして環境省の仕事がしてみたい!と思ったのです。

あれから14年。6回の引越しを重ね、今ではすっかり「レンジャー」にハマっています。

環境省のレンジャーは少数、いつも人手不足。少数だから出来る事と出来ない事があります。そのため、地元住民や学識者、自然保護団体、関係行政機関等、様々な方々の協力や理解を得て施設や施設整備を進めていきます。

最近私が担当している登山道整備は、登山者の影響により深く浸食した登山道の修復、保護対象物となっている植物群落を觀賞するための休憩デッキ設置、誘導標識や山頂標識のデザイン統一化、維持管理体制の構築等、様々な問題について地元住民や学識者、関係行政機関等と合意形成を図り、施設整備を何とか進めています。自然を利用しながら如何に保護するか? 正解が無いこの問題にいつも悩

まされ、厳しい意見や難題に心が折れそうになりながらも、先輩や同期、後輩のレンジャーの支えを受け、バランス良い答えを出し、関係者からの信頼を得て合意形成を図っていく。関係者とのネットワークを構築して仕事を進める。これがレンジャーの醍醐味です! また、担当以外の仕事にもよく駆り出されるのは、レンジャーならではの、無人島での鳥類調査のサポート、草原における牛の行動調査、ニホンジカのライトセンサス、火山噴火対策本部での情報収集等々。担当の仕事以外にもとても貴重な経験をしています。

自然が相手なので、現場へ行くには車や徒歩で長時間の移動もあり、肉体的にもハードですが、レンジャーの仕事は自然や地域へ貢献ができるとてもやりがいのある仕事です。また、転動する先々で地域の人々との素敵な出会いもあり、これも魅力の一つです。

これを読まれた皆さんも「レンジャー」にハマってみませんか?

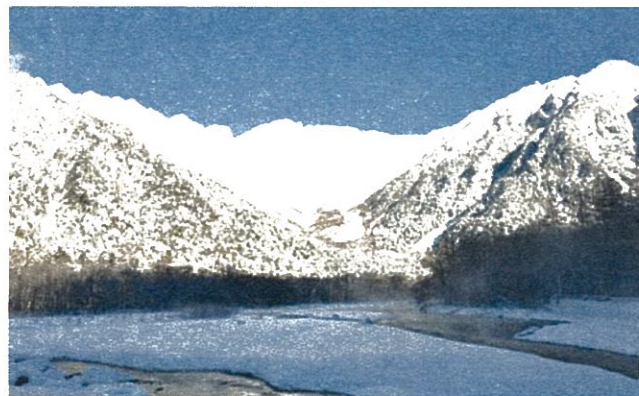


- 平成11年4月 西北海道地区国立公園 野生生物事務所施設科 係員
- 平成13年4月 九州地区自然保護事務所施設科 係員
- 平成15年4月 北関東地区自然保護事務所公園保護科 自然保護官
- 平成17年10月 関東地方環境事務所国立公園 保全整備課 自然保護官
- 平成19年4月 釧路自然環境事務所国立公園 保全整備課整備計画専門官
- 平成23年6月 長野自然環境事務所国立公園 保全整備課整備計画専門官
- 平成25年4月 現職

ある1日の仕事スケジュール

- 8:00 出勤、メールチェック
- 9:00 施工現場で打合せ*
- 10:00
- 11:00
- 12:00 昼休み
- 13:00
- 14:00
- 15:00
- 16:00 帰所
- 17:00 打合せ結果の記録作成
整備計画の進捗チェック
- 18:00 終業
- 19:00

*例えば、登山道整備の施工現場は、車を片道1~3時間程度運転した後に、徒歩で片道1~4時間程度離れた場所もあり、山小屋宿泊の場合もある。



奥穂高岳(中部山岳国立公園)

出会いと別れのくり返し。 気がつけば自分の糧になっていた

中川 春菜 (H16年度入省、II種林学)
関東地方環境事務所那須自然保護官事務所 自然保護官

入省して10年目。これまで、現在の職場を含め5か所の現地事務所と1回の本省勤務を経験してきました。入省するまでは1回しか引越しをしたことがなかった私ですが、もはや手慣れたものです。

これまでの5か所の事務所勤務では、全て国立公園の保護管理を担当していました。新しい事務所へ赴任するときはいつも、どんな自然が、そしてどんな人たちが待っているのか、本当にドキドキします。

国立公園が抱えている課題も、それを取り巻く地域社会も千差万別。国立公園の課題の解決方法に共通の正解はありません。地域の自然を学び、過去のレンジャーが積み上げてきたものを受け継ぎ、少しずつ地域の方々や自分なりの関係性を築いて国立公園の抱える課題と一緒に取り組む。そんな積み重ねで、気付けばもう10年目になっていました。

正解がないことに取り組むのは楽しくも難しいもので、ときに逃げ出したくなる(!)こともありますが、地域の自然に心から誇りをもつ住民の熱い語りや、国立公園の自然を満喫するハイカーの笑顔などから大いに力

をもらい、日々頑張っています。

そうして着任してから2~3年も経てば出来るのが人事異動です。その頃ともなれば、担当する国立公園のことを大好きになっている私。毎回後ろ髪を強烈に引っ張られる思いに駆られるわけですが、前任地や前々任地での経験を存分に生かせるのもこの仕事のいいところ。異動のときはいつも、「この公園での経験を次の赴任地で生かすのが返返しだ!」と自分に言い聞かせ、またそのことを心に誓い、どうにか次の任地へと向かうのです。

様々な自然や個人的な人々にたくさん出会い、泣いて笑って、多くの貴重な経験を積み重ねることができるこのレンジャー様業、私は大いに気に入っています。とても楽しく、やりがいのある仕事です。ぜひ環境省に足を運び、直接レンジャーに話を聞いてみてください。みなさんといつか一緒にできる日を楽しみにしています。



- 平成16年4月 北関東地区自然保護事務所公園保護科 係員
- 平成17年10月 関東地方環境事務所国立公園 保全整備課 自然保護官
- 平成18年4月 奥多摩自然保護官事務所自然保護官
- 平成21年4月 羅臼自然保護官事務所自然保護官
- 平成23年4月 自然環境局自然環境計画課 主査
- 平成24年4月 自然環境局自然環境計画課 企画係長
- 平成25年4月 現職

ある1日の仕事スケジュール

- 8:00 出勤
- 9:00 事務所出発
- 9:00 現場着
- 10:00 許可案件の現地調査
- 11:00
- 12:00 昼休み
- 13:00 村役場と公園計画の打合せ
- 14:00
- 15:00
- 16:00 帰所
- 17:00 現地調査や打合せ結果の記録作成、申請書の処理
- 18:00
- 19:00
- 20:00 終業



茶臼岳(日光国立公園那須甲子地域)

レンジャー生活とは？

第一級の自然を保護する最前線。 そこに立つ責任とやりがい

瀬川 涼 (H18年度入省、II種林学)
東北地方環境事務所秋田自然保護官事務所 自然保護官
(藤里自然保護官事務所 併任)

「自然と人と野生生物が共存できる社会づくりに関わる仕事がしたい。」そう志して環境省の門を叩いてからまだ七年分しかない経験ですが、レンジャー生活の一端をお伝えできればと思います。

レンジャーの仕事の醍醐味は、なんと行っても全国で第一級の自然や生態系がある場所に実際に住み、その場所の保護管理の中核に携われることです。初めての赴任地は北海道地区を統括する地方環境事務所の野生生物課に外来生物担当として配属されました。入省数ヶ月で外来生物法の講師として、現地で実務を担当されている方々に法の意義や規制内容を説明したり、規制対象となる生物の飼育申請処理を年間数百件も行いました。さらに、シマフクロウの巣箱設置やタンチョウのカウント調査など希少種保全の現場活動や、今後の取組を決定する検討会の運営を経験しました。3年目の吉野は初めての現地事務所。大台ヶ原での森林再生やシカ対策、利用推進の分野毎の対策の進め方は勉強になり、吉野の修験者や山小屋のご主人の自然への関わり方、その土地に根ざした考え方に感銘を受けました。4年目途中からの白山では初めての単独駐在。外来植物の除去作業や希少種の保全調査、ビジターセンターや避難小屋の改修、利用拠点地域の整備計画の策定、国立公園の区域拡張



など様々な取組に携わりました。また、国立公園指定50周年の記念すべき年に立ち会うことができ、指定の経緯を振り返り、今後どのような白山にしていきたいか話し合いました。そして8年目の現在、秋田では国指定森吉山鳥獣保護区と国指定大湯草原鳥獣保護区を、藤里では白山山地世界自然遺産地域の秋田側を管轄し、必死に新しい業務と地域について勉強中です。

以上のようなこれまでの経験で心に残った言葉があります。

『レンジャーの仕事は人相手』自然の保護管理は、様々な方々の理解協力がないと行えません。同じ目標を持った仲間と時に熱い議論を交わしながら活動し、取組が前に進んで共に喜べる時は、この仕事をやってよかったと思える瞬間です。

『環境大臣の代理として来ている覚悟と責任を持って』自分の考え方、判断結果、業務の方針が地域に大きく反映されます。また、環境省の仕事の視点は常に現場を向いています。組織は小さいですが施策の方針はレンジャーの意見が最優先。地域の声を施策として実現していくことができる、やりがいのある仕事です。

自然を守り、その将来像を地域と一緒に考えて、実現していきたいと思っています。大きなやりがいと素晴らしい出会いのある人生が待っていますよ。



桃沢渓谷 (国指定森吉山鳥獣保護区)

レンジャー入門書

山本 以智人 (H21年度入省、II種農学)
那覇自然環境事務所やんばる自然保護官事務所 自然保護官

自然保護官(レンジャー)は、全国各地の自然豊かな土地で仕事をしながら、人として成長していくことができる素晴らしい職業だと思います。一方で、慣れ親しんだ場所でも数年で離れなければならないこと、せっかくその土地に関する知識を覚えても次の職場では通用せず、また新たに覚えなければならない等の大変な面も多くあります。北海道や沖縄での勤務の経験を通して、レンジャーについて現場で感じていることをお伝えします。

レンジャーは技術職ですが、実際の仕事は「オールラウンド」です。特に現場の自然保護官事務所では、環境に関するありとあらゆる問題に対応することになります。現職のやんばる自然保護官事務所では、野生動物の救護に向かうこともあれば、野生生物や自然環境の調査に関する企画立案をしたり、希少動植物の保護施策を考えたりと、日々多様な業務を行っています。ただし、世間のイメージとは異なり、圧倒的にデスクワークが多いのが実情です。

多様な業務の中でも特に重要な業務が、関係者との「調整」です。専門家や保護

団体、行政、地域の方々など多様な関係者と議論を重ねて、自然保護の施策を決めていきます。環境省は自然保護の立場ではありませんが、それ以外の関係者の立場も十分に配慮すること、関係者が少しでも動きやすくなるよう人と人をつなぐこと、行政にしかできない役割を考えながら動くことがレンジャーの重要な役割と感じています。

最後に、レンジャーにとって何より大切なものが「熱意」だと思います。私達が扱う環境に関する仕事の多くは決まった答えがないものです。正解のない問題に対して関係者と智恵を出し合い、解決していく必要があります。その際の最終的な決定には何よりも「熱意」が左右すると実感しました。熱意をもって臨めば、思いは必ず実を結び、日本の環境行政に反映されます。ぜひ豊かな日本の自然を次の世代に引き継げるよう、レンジャーと一緒に頑張っていきたいです。



平成21年4月
北海道地方環境事務所
野生生物課 係員
平成22年4月
那覇自然環境事務所
野生生物課 係員
平成23年6月
釧路自然環境事務所
国立公園 保全整備課 自然保護官
平成25年4月
現職

平成18年4月
北海道地方環境事務所
野生生物課 係員
平成20年4月
近畿地方環境事務所
吉野自然保護官事務所 自然保護官
平成21年7月
中部地方環境事務所
白山自然保護官事務所 自然保護官
平成25年4月
現職

ある1日の仕事のスケジュール

- 8:00 出勤、メールチェック
- 9:00 現場(国指定大湯草原鳥獣保護区)へ出発
- 10:00 鳥類調査、鳥獣保護区管理棟など施設の修繕箇所確認、打合せ
- 11:00
- 12:00 昼休み
- 13:00 修繕方針案の作成
- 14:00
- 15:00 主催する自然観察会の打合せ
- 16:00
- 17:00 外部発注した業務の進捗確認
- 18:00
- 19:00 終業



やんばるの照葉樹林

ある1日の仕事のスケジュール

- 7:00 早朝から野鳥の救護
- 8:00 出勤
- 9:00
- 10:00 ヤンバルクイナの飼育繁殖に関する打合せ
- 11:00
- 12:00
- 13:00 希少動物調査業務の打合せ
- 14:00 国指定鳥獣保護区内での捕獲許可手続等の事務作業
- 15:00
- 16:00 研究者や地元関係者と打合せ
- 17:00
- 18:00 終業

レンジャーの職歴 [Ⅱ種・一般職(大卒程度)]

採用情報

平成8年入省(18年目)、男性、41歳、林学

年月	所属・役職	主な業務
平成8年4月	山陽四国地区自然保護事務所公園保護科・係員	瀬戸内海国立公園(岡山地域)の保護管理
平成9年7月	高松自然保護事務所・係員	瀬戸内海国立公園(徳島・香川地域)の保護管理
平成11年7月	自然環境局国立公園課・係員	国立公園事業の推進
平成12年4月	自然環境局企画調整課総務管理室・係員	省庁再編に伴う動物愛護管理法に係る業務の移管準備業務
平成13年1月	自然環境局総務課動物愛護管理室・係員	動物愛護管理法の運用
平成14年7月	竹野自然保護官事務所・自然保護官	山陰海岸国立公園の保護管理 希少野生動植物(アベサンショウウオ)の保護増殖事業の推進
平成15年8月	自然環境局総務課・主査	外務研修
平成16年3月	在ブラジル日本大使館・政務班二等書記官	ブラジルにおける日本外交(環境・科学技術分野)の連絡調整及び支援
平成19年3月	自然環境局総務課・指導係長	自然環境行政の各種連絡調整
平成19年10月	北海道地方環境事務所国立公園保全整備課・自然保護官	利尻礼文サロベツ、大雪山及び支笏洞爺国立公園の保護管理 国指定鳥獣保護区(道東を除く北海道管内)の管理
平成20年4月	北海道地方環境事務所国立公園保全整備課・公園計画専門官	同上
平成21年10月	自然環境局自然環境整備担当参事官室・主査	自然公園等施設整備事業の推進
平成23年4月	鹿児島自然保護官事務所・上席自然保護官	霧島錦江湾国立公園(錦江湾地域)の保護管理 希少野生動植物(ベッコウトンボ)の保護増殖事業の推進 オオクテバス等の外来生物対策・国指定出水、高尾野及び草垣島鳥獣保護区の管理

平成14年入省(12年目)、女性、35歳、林学

年月	所属・役職	主な業務
平成14年4月	自然環境局野生生物課・係員	希少野生動植物(トキ、アホドリ等)の保護増殖事業の推進 国指定鳥獣保護区の指定及び管理
平成15年4月	南関東地区自然保護事務所公園保護科・係員	富士箱根伊豆国立公園(箱根地域)の保護管理・自然ふれあいの推進
平成16年4月	南関東地区自然保護事務所公園保護科・自然保護官	同上
平成17年10月	関東地方環境事務所野生生物課・自然保護官	希少野生動植物(トキ、アホドリ等)の保護増殖事業の推進 国指定鳥獣保護区の指定及び管理・鳥獣捕獲許可手続対応
平成18年4月	釧路自然環境事務所野生生物課・自然保護官	希少野生動植物(タンチョウ、シマフクロウ等)の保護増殖事業の推進 鳥獣捕獲許可手続対応
平成20年4月	島海南麓自然保護官事務所・自然保護官	希少猛禽類(主にイヌワシ)の保護増殖事業及び普及啓発の推進 猛禽保護センターの管理運営・国指定最上川河口鳥獣保護区の管理
平成24年4月	関東地方環境事務所野生生物課・鳥獣保護係長	外来生物対策
平成24年6月	関東地方環境事務所国立公園保全整備課・公園計画専門官	小笠原国立公園の保護管理(主に外来生物対策) 小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会の運営
平成25年4月	那覇自然環境事務所・里地里山保全専門官 野生生物課・自然保護官	希少野生動植物(イリオモテヤマネコ、アマミノクロウサギ等)の保護増殖事業の推進

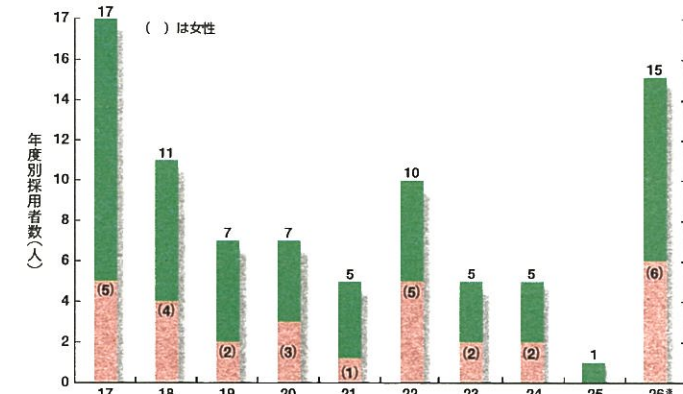
平成15年入省(11年目)、男性、33歳、土木

年月	所属・役職	主な業務
平成15年4月	新宿御苑管理事務所庭園課一科・係員	新宿御苑における自然ふれあい活動の推進・新宿御苑の庭園及び外構施設の改修・整備
平成17年4月	山陽四国地区自然保護事務所公園保護科・係員	瀬戸内海国立公園大久野島地区の護岸整備 瀬戸内海国立公園東予地区の整備方針策定・瀬戸内海国立公園の整備計画見直し
平成17年10月	中国四国地方環境事務所国立公園保全整備課・自然保護官	同上
平成18年4月	長崎県自然保護課・技師	西海国立公園(小佐々地域)の海洋スポーツ基地カヤックセンター整備 帯域対馬国立公園の園地整備
平成20年4月	東北地方環境事務所国立公園保全整備課・自然保護官	磐梯朝日国立公園及び十和田八幡平国立公園の登山道調査・整備 十和田八幡平国立公園(十和田八甲田地域)の整備計画見直し
平成22年4月	北海道地方環境事務所国立公園保全整備課・自然保護官	大雪山国立公園の登山道設計・整備 利尻礼文サロベツ国立公園(礼文地域)の整備計画策定 サロベツ自然再生事業に関する調査・整備事業の推進
平成25年4月	長野自然環境事務所・整備計画専門官 松本自然環境事務所・自然保護官	中部山岳国立公園(上高地地域)の園地整備 中部山岳国立公園(立山地域)の登山道整備及び火山ガス安全対策(立山室堂地獄谷)

平成17年入省(7年目)、男性、34歳、農学

年月	所属・役職	主な業務
平成17年4月	やんばる自然保護官事務所・係員	やんばる地域の国立公園指定に向けた調整 国指定屋敷地鳥獣保護区の管理・自然観察会の開催運営
平成19年4月	自然環境局野生生物課外来生物対策室・係員	外来生物法の調査等許可手続対応・特定外来生物の新規指定業務 要注意外来生物の輸入時の対応
平成20年4月	釧路自然環境事務所野生生物課・自然保護官	希少野生動植物(タンチョウ、シマフクロウ等)の保護増殖事業の推進 国指定鳥獣保護区(道東管内)の管理、鳥獣捕獲許可手続対応 傷病鳥獣対応・鳥インフルエンザ対応
平成23年4月	自然環境局総務課自然ふれあい推進室・係員	みどりフェスタの開催運営・全国自然いきものめぐりスタンプラリーの推進 自然ふれあい関係ホームページの管理運営・パークボランティア、自然公園指導員の推進
平成24年7月	自然環境局総務課自然ふれあい推進室・自然教育係長	同上

Ⅱ種・一般職(大卒程度)職員採用者数(過去10年)



Ⅱ種・一般職(大卒程度)試験区分別採用状況(過去10年)

職種	年度									
	H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26*
林学	13	9	7	6	3	10	3	5	1	11
農学	3	1			2		1			2
土木	1	1		1			1			
農業農村工学**	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
計	17	11	7	7	5	10	5	5	1	15

※平成26年4月1日付け入省予定者数
**「農業農村工学」は平成26年度から採用対象

国家公務員一般職試験(大卒程度)(林学・農学・土木・農業農村工学)の採用に関するお問い合わせは以下へお願いします。

環境省

住所 〒100-8975東京都千代田区霞が関1-2-2 電話 03(3581)3351(代表)

●大臣官房秘書課任用係

内線 6127 直通 03(5521)8207

●自然環境局総務課

内線 6424 直通 03(5521)8342